

令和 6（2024）年度アートマネジメント人材等海外派遣プログラム 第 1 回 派遣対象者決定 ヴェネツィア・ビエンナーレ、ローマ（予定）

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材を海外のフェスティバル等に短期間派遣する「アートマネジメント人材等海外派遣プログラム」事業を実施しています。

2024 年度の第 1 回派遣では、世界最大の国際美術展であるヴェネツィア・ビエンナーレとローマ（予定）への派遣対象者の募集を行いました。視覚芸術に関わる若手を中心に 19 名の応募が寄せられ、審査の結果、下記 3 名の派遣対象者を決定しました。

なお、本プログラムは 2024 年度も数か国への派遣対象者募集を予定しています。

氏名（ふりがな）	芸術分野	主な職能
三木 茜 （みき あかね）	ビジュアル アーツ	アートマネジメント
岩田 智哉 （いわた ともや）	ビジュアル アーツ	キュレーター
戸塚 愛美 （とつか まなみ）	ビジュアル アーツ	キュレーター

※順不同、敬称略

※本事業については、令和 6 年第 1 回東京都議会定例会において東京都予算案の議決を得ること及び公益財団法人東京都歴史文化財団の令和 6 年度予算案が財団理事会の議決及び同評議員会の承認を得ることを条件に確定します。

令和 6(2024)年度 アートマネジメント人材等海外派遣プログラム

「東京文化戦略 2030」では、東京が国内外のアートシーンの中心として、集積する芸術文化資源を最大限活用し、世界を魅了する創造性が生み出される国際的なアートハブとして機能していくことを目指しています。そのため、本事業では将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材を短期で芸術フェスティバル等に派遣し、国際的な活動の第一歩となるよう、海外の芸術文化関係者のネットワークを作る機会を提供します。また、海外の先駆的な作品や創作現場に直にふれることで、国際的な視点に立った創作の機運醸成を図ります。なお、将来的にはこの事業を通じて東京と各派遣先との連携を深め、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化につなげます。

その他事業に関する詳細はアーツカウンシル東京ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/education/art-management/64218/>

アートカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。

<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アートカウンシル東京
活動支援部助成課 支援デザイン担当：石綿、角南
TEL：03-6256-8433 E-mail：haken@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アートカウンシル東京
企画部広報課 広報担当：工藤、圓城寺
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp